

**吉川中学校区 義務教育学校開校に向けた学校説明会
質疑応答要旨(令和7年8月1日・2日)**

※質問・回答とも要旨を記載しております。
※本説明会の趣旨に関係するもののみ掲載しております。

No.	項目	種類	質問内容	回答内容
1	義務教育学校	質問	義務教育学校のデメリットについてさらに教えてもらいたい。	9年間同じ学校なので、人間関係の固定化が心配されること以外にも、小中の段差があることで「切り替え」ができていたという部分もあります。その区切りがないことがデメリットと考えることもできます。前期学部から中期学部への節目で気持ちを切り替える取り組みや、6年生の活躍の場をどのように設定するかという部分を考えていきます。
2	教育目標	要望	学校教育目標の説明のときに、失敗を次につなげられる子どもを育てたいと言っていたが、成功体験を積み重ねることも大切にしてもらいたい。	失敗で終わるのではなく、そこから子どもたちが成功につなげ、自分に自信を持てるような指導を大切にしていきます。
3	集団づくり	質問	9年制にすることによる人間関係の固定化に対する対策を教えてもらいたい。	子どもたちの関係性が固定化しないよう、様々な活動を通して子どもたちが互いの良さに気づくことを積み重ねていきたいと考えます。また教員がチームとして子どもたちと関わっていくことを考えています。さらに東西間の学校交流や、海外ともつながることで人間関係を広げていってほしいと考えています。
4		意見	クラスの数が増えることによるギャップに不安を感じている。	昨年度から同じ学年の子どもたちによる交流する取り組みを行っています。今年度は、宿泊学習でも3小学校の子どもたちが交流できるように工夫しています。子どもたちが、新しい環境に早く馴染めるよう、一人ひとりの様子をしっかりと見守っていきます。
5		意見	子どもが吉川小学校に通っているが、急に集団が大きくなることに不安だと言っている。	
6	プラスタイム	質問	週1回は授業を45分にして、プラスタイムを設けるのか。 全員が一緒に授業を受けるのか。 曜日は決まっているのか。	1週間に1回、1時間の授業を5分ずつ短くすることで30分を生み出し、6時間目の後にプラスタイムを設定します。 参加したい児童生徒が参加するのではなく、全員で学習します。教員も一緒に入って、子ども一人ひとりの力が伸ばせるような個に応じた学習の時間になるようにします。 現在は週1回設定する予定であり、曜日は検討中です。
7		質問	「学び直しの時間」では、1クラスの児童一人ひとりに合わせて学び直し(復習など)を行うのか。30人程度を30分の中で先生が1人1人見られるのか。プリント等を配りやらせるのか。30分で復習・定着ができ、きめ細かい対応ができるのか。	「学び直しの時間」では、子どもたちが、自分に合った学習方法を見つけ出し、自律的に学習を進める力を身に付けることができるよう、全ての教員が子どもたちに関わり、個々の子どもの理解に合わせた学習を行っています。

8	学び直しの時間	要望	「学び直しの時間」については、ぜひ、習熟度別に、学習をきめ細かくみて欲しい。勉強が得意な子、そうではない子がいる。また、塾に行っていない生徒は、学校の授業のみの学習となる。学校の授業のみで理解が不十分な子に対して、十分かつ充実した指導をして欲しい。	子ども一人ひとりの学力の定着状況に合わせた個別指導とグループ学習を取り入れ、基礎学力と応用力を高めていきます。
9		意見	「学び直しの時間」には教員が入るとお話がありましたが、各自、やりたい勉強、教科を実施するような自習に近いかたちでは、あまり意味のある時間を過ごせない子が出てくる可能性があります。時間の使い方については、もっと具体案が聞きたかったです。	「基礎的な知識や技能の定着を図る学習」「学んだ内容を異なる方向から応用する学習」「他教科と関連付けて理解を深める学習」など、子どもたちが新たな視点や深い理解を伴う学習ができるよう、取組みを進めていきます。個々の学習到達度や目標に応じて、適切な課題を設定し、進捗状況を確認しながら、努力の過程を評価し、前向きなフィードバックを行うことで、学習意欲も高めていきます。
10	異学年交流	質問	「異学年交流の時間」とは、教室から移動してどこかの部屋に他学年が集まり、交流をもったりするのか。	「異学年交流の時間」は、複数の学年が一緒に活動しますので、教室以外の場所に集まって交流の時間をもつことも考えられます。
11		質問	「異学年交流」とは、具体的にどのようなことを行いますか。	例えば、学習の成果を発表し合ったり、行事などに異学年でチームを組んで取り組んだり、様々な活動を検討していきます。
12		要望	今、小学校に通っている子どもの様子を見ると、地域に子どもの数が少ないこともあってか、他学年の子どもたちとも関わりが多く、仲良くする姿が見受けられています。義務教育学校が開校すれば、1年生から9年生が同じ学校に通うことになり、他学年との関わりが今まで以上に見られたらいいなと思っています。そういった交流の時間を積極的に設けてほしいです。	義務教育学校の大きな魅力は、9年間という長い時間をかけて、様々な年齢の子どもたちが一緒に関わることができることです。学年の枠を越え、温かい人間関係の中で、共に学び、共に遊び、協力して活動できる異学年交流の時間を積極的に設けていきます。
13	校時表	質問	勉強時間、休み時間の有無などを教えてください。	校時表(時程)については、次回の説明会で回答します。
14		質問	1時間目は何時何分に始まり、6時間目は何時何分に終わりますか。1日の流れを明示してください。今までと登下校、休み時間等はどのように変わるのか、変わらないのか知りたいです。	
15		質問	50分授業になることによって、20分休み(業間)や昼休みはあるのか。始業時間や終業時間はどうなるのか。	50分授業を導入することによって、現段階では20分休み(業間)はなくなり、昼休みは設ける予定です。スクールバスの導入の関係もあり、確定ではありませんが、始業時間は8時20分で考えています。

16	担任制	意見	「チーム担任制」についてのメリットは理解できましたが、デメリットはありませんか。固定の担任が、1人は必要ではないですか。現実問題、子どもたちも保護者も誰に相談するか迷う。話しやすい先生、頼れる先生に保護者からの相談が集中する。先生たちも、複数のクラスを担当することで多忙となり、責任感が欠ける。3人がいると誰かがやってくれるという気持ちも多少はあるなど、どう対応されるのか疑問です。チーム担任制や先生方に反対ということではありません。実際、現場で働いている先生方も大変だと思います。	
17		意見	「チーム担任制」という制度を今までに聞いたことがなかったので、面白い取り組みであると感じると同時に不安もあります。例えば、1人の先生に伝えたことが、他の2人の先生方に伝わっていなかったり、そういったことが起こってしまわないかなどと思ったりもします。今まで以上に先生方の連携が必要になることと思いますが、先生方・子どもたちが一丸となって素晴らしいチームになってくれることを期待しています。	
18		意見	学年担任制については、1組は1組の担任、2組は2組の担任が見るだけではなく、3人の先生の目で多角的に見ていただけるのは子どもにとっても保護者にとっても良いことだと思います。小学5・6年生になると思春期になりいろいろと悩みや問題も出てくるかと思えます。人間ですので、子どもと先生、保護者と先生にも相性があると思えますで、3人の中で相談しやすい先生に相談できることは、今まで「この先生は相談しにくいからやめておこう」と思っていた人も、あの先生なら相談しやすいからと、学校や家庭内でのことも話しやすくなるのではないかと思います。ただ、3人の中で相談しやすい、いわゆる人気のある先生に負担が偏ってしまうのではないかと、個人懇談の時も希望制になると1人の先生に集中しそうだという懸念はあります。	

1つの学年2クラスを3人の教員が担任として担当しますが、子どもたち一人ひとりの主となる担当は決めたいと考えています。

主となる担当はいますが、3人の教員が担任ですので、3人のうちのどの教員に相談いただいても大丈夫です。

「チーム担任制」を実施する上では、教職員間の密な連携が重要になります。教職員が協力し合い、チームとなって学級や学年を運営することにより、教職員は、課題を一人で抱えるのではなく、チームで課題を共有し対応していきますので、特定の教職員だけに負担がかかってしまうことは軽減され则认为ます。

子どもたちが安心して学校生活を送り、子どもたち一人ひとりの力を最大限伸ばすことのできる環境を整えられるよう、努めていきます。

19		要望	クラス担任制がないことについて、他市町の話を知ると、ある生徒は、「先生との関係が希薄になっていて、先生と話す機会が減っている」と言っている。複数の先生でみることで、メリットもあるが、先生の責任の所在が分散することで、相談事などの何かあった際の窓口が複数になり不都合が起きないか、先生同士の情報共有がきちんとされているか、先生同士のチームワークがうまくいっているか、生徒や保護者との関係性に良くない影響が出ないことを望みたい。熱心に愛情を持って、全力で生徒と向き合ってほしい。	
20		意見	2つのクラスを3人の担任で見るチーム担任制は安心できると感じる反面、学年をまたがって授業をするのであれば、一人ひとりに対する手厚さが欠けてしまうのではないかと。学年をまたがるのではなく、1つの学年に専念できるような体制を整えてほしい。	教科担任制によって、教科の専門性を活かすことができ、つながりのある授業をすることが出来ます。また、中期学部の子どもたちをたくさんの方で見守っていく体制をつくっていきたいと考えています。
21		意見	中期学部をまとめてくらず、やはり、学年ごとに丁寧に見られる環境にすべきです。基本的に学年の授業は学年の先生が見ることで安心した学校づくりにすべきです。何より、令和8年度4月1日に全ての環境が完璧に整った状態でなければ開校すべきではないです。	学年の教職員は、チームとなって子どもたちに丁寧に関わっていきますが、学年の枠を越えて多くの教職員が子どもたちに関わり、子どもたちのよりよい成長につなげていきたいと考えます。子どもたちも、保護者の方にも、安心して4月を迎えていただけるよう、準備を進めていきます。
22		質問	チーム担任制にすると学年の所属の教職員数は現在より増えるのか減るのかを教えてください。	チーム担任制となっても、学年所属の教員の人数はあまり変わらないと考えています。
23		質問	8・9年生は、「教科担任制」+「クラス担任」となりますか。進路の相談は、担任の先生にできますか。	8・9年生は、「教科担任制」+「クラス担任」となります。進路の相談は、クラス担任の先生にできます。
24	学級編成	質問	クラス替えは、毎学年実施するのか。	クラス替えは、毎学年実施の方向で考えています。
25		質問	今、少人数で授業をしています。何人を超えれば3クラスになるのでしょうか。	現在の制度では、通常学級在籍児童生徒が、1～6年生は71人以上、7～9年生は81人以上になると3クラス編成になります。
26		意見	5年生からの50分授業について、反対します。小学校学年である5・6年生までは、文科省が定める時数に準じて、45分授業を実施すべきである。業間休みは、小学生には「絶対に必要」です。(子どもの望むことです。)子どもが子どもらしく過ごせる時間を奪うべきではないです。	授業時間が45分から50分に5分延びることで、子どもたちが、自らの学びをじっくり振り返り、効果的に学習するためのよりよい学び方を見つけ出すための時間に活用することができます。また、1つの課題について、じっくりと探究したり、討論したり、表現したりする活動に時間をかけられます。さらに、この5分間の延長で、子どもたちの質問に
27		要望	50分授業は、いきなりフルで始めるのではなく、少しずつ増やしてもらえたらと思います。(特に5年生)	

28	授業時間	意見	50分授業について反対意見がありましたが、高校では65分授業、大学では90分授業を経験しました。中学・高校以降のことを考えると、発達段階で5・6年生から50分の集中力をつけるためには良いと思います。近年、個々に合わせたゆっくりペースに合わせる傾向がありますが、社会に出たときに力を発揮するためには長時間の集中力を身につけるのに小学校5・6年生が早すぎるということはないように感じます。	対して答える時間を確保する余裕が生まれ、一人ひとりの理解度に応じた丁寧な指導が可能になります。 子どもたちの集中力の持続については、一方的に話を聞いただけの授業ではなく、子どもたちが主体的に参加できる活動を授業の中に取り入れ、1時間の授業が充実した学びの時間となるようにしていきます。
29		意見	5・6年生が50分授業となることで、子どもに負担がかかるのではないかと疑問を感じる。できるのであれば最初は45分授業で初め、途中から50分にするような形を取ってほしい。	小中一貫教育の先進校で、5年生から50分授業を実施している学校があります。5分間延長した時間を使って、しっかり考えたり、振り返ったり、議論することで、授業の内容を充実させ、学力を向上させていきたいと考えています。 5分間延長することによって、子どもの負担が増えるというご意見はしっかり受け止めて、検討していきます。
30		質問	休み時間が減ると聞いているが、子どもが友達同士で遊びなどで関わり合う時間も保障してほしい。また5・6年生の50分授業は負担なのではないか。全国の傾向として授業時間の短縮が議論されているが、なぜ50分なのか。	5・6年生に50分授業を導入するのは、学力と学習意欲の向上を図り、社会に出ても使える力の育成を目指しているからです。子どもたちが自分たちの学びに自信を持ち、意欲が上がるよう、取組みを進めていきたいと考えています。
31		質問	5・6年生は50分授業になり、中学生の内容も先取りするというのであれば、詰め込みにならないか。 学習についていけない子どもたちもいる中、プラスタイム等で補うことができるのか。	学習は、当該学年の学習指導要領に則っておこないます。現時点では、学習の先取りはおこないません。 「プラスタイムの時間」では、個に応じた学習が実施できるよう進めていきます。
32	学習	質問	4－3－2制は、学習内容も前倒しになるのか。	義務教育学校開校時は当該学年の学習内容で進めていく予定です。今後、取組みが進んでいく中で再検討することもあるかと思われます。
33	評価	質問	5～7年生の成績表はどのような形になるのか。(統一なのか、7年生になったら変わるのか)	義務教育学校になっても学習指導要領に準拠した学習を行います。評価(成績表)については検討中です。
34	ICT教育	意見	ICT機器の積極的な活用とあるが、現在子どもが使っているタブレットは使いにくいように思う。さらなる活用をめざすのであれば、使いやすいタブレットを提供してほしい。	義務教育学校における通信環境の整備を進めています。今年度、タブレットの更新時期となっており、新しい機器に交換します。
35	通級指導教	質問	通級指導を受けるにあたって、別室で対応も可能なのかなど、もう少し詳しくお聞きできたらと思います。	指導場所については、通級指導教室(別室)を基本とする個に応じた学びの場を設定し、個別や小集団で指導をおこないます。
36		質問	通級指導教室は、希望すればもれなく利用できますか。定員はないですか。	通常の学級で、学習上又は生活上に何らかの困難さを抱えている場合に、言語や発達の課題の改善・克服を目的とし、通級指導教室で「自立活動」の指導を受けることができます。定員はありません。

37	室	質問	現在放課後に通級指導を受けているが、新しい学校でのプラスタイムで放課後の通級の指導が減ったりするのか。また夏休みの学習室に呼んでもらっているのだが、新校でも可能なのか。	通級による指導は授業時間の中でおこなわれますので、プラスタイムができることで影響を受けるとは考えていません。夏休みの学習室などについては検討できていません。
38	養護教諭	質問	養護教諭の人数はどうなるのか。	2名を配置する予定です。
39	学校行事等	質問	運動会は、全学年とするのか。	学校行事の実施方法等については、検討中です。次回の説明会で回答します。
40		質問	行事(運動会、合唱発表会、学習発表会等)の学年のくりはどうなるのでしょうか(1～9年全員とするのか、分けるのか)。開催時期は、いつになるでしょうか。	
41		質問	学校行事(運動会など)は、1～9年生みんなで行いますか。	
42		質問	修学旅行等は、今まで通りの実施学年で行うのか。運動会や学習発表会、文化祭等はどうなるのか。	
43		質問	4年、7年修了時の節目の式は、保護者参加型なのか。子どもたちで行うのか。	前期学部・中期学部修了時の節目の式は、保護者参加ありの方向で考えています。
44		要望	通常の小学校卒業時のような卒業アルバムがないのは少し悲しいです。何か、修了式以外にも写真を残していただく等があると嬉しいです。	卒業アルバムの作成は、9年生卒業時のみになります。9年間の成長の記録が残るような内容を検討していきます。
45		質問	6ー3制の中であったセレモニー(小学校卒業式・中学校入学式)などが無くなってしまうが、それに変わる取組みは無いのか。	入学式・卒業式は、1・9年生だけで考えています。6ー3の節目については、考えていませんが、ご意見として伺います。
46	児童会等	質問	児童会・生徒会は、どういった形になるのでしょうか。	児童会・生徒会については、検討中です。次回の説明会で回答します。
47	服装等	要望	標準服の襟付きシャツについて、書道で汚れることが考えられるので、黒や紺もOKにしてほしい(特に中期学部)。	襟付きシャツについては、ポロシャツも可です。色等については、次回の説明会で回答します。
48		質問	中期学部の上衣は、指定なしとのことだが、色の指定もないのか。「シャツ」とは、ポロシャツも含むのか。「推奨」の服等については、あくまで推奨なので、色だけあわせれば違うのを着続けて大丈夫か。	
49		質問	標準服の指定があるが、カバン等はどうなるか。	カバンは、自由です。
50		質問	標準服は男女指定があるのか。	男女の指定はありません。ブレザーは2タイプあり、ボタンも付け替えられるようになっています。

51	部活動	質問	運動系、文化系など、何種類の部活ができる予定か。先生の負担にならない範囲で、外部や民間、または教職員OB・OGから顧問を呼んでもいいと思う。放課後や長期休暇中、クラブ活動で充実した時間を過ごせるよう希望する。勉強が好きではなく、塾や習い事に行くのを好まず、行かない子もいる。(当然だが、学校の学習を塾ありきで捉えられるのではないようにお願いしたい。)バレーボール部など代表的な運動のクラブはあって欲しい。豊能町は、地域的に指導者のいる運動施設が乏しく、なおさら、クラブ活動の充実をぜひお願いしたい。クラブ活動により、人間力など、社会で生きていける力がある程度養えると期待できる。	現在、吉川中学校には、陸上・ソフトボール・卓球・女子バドミントン・野球・男子テニス・女子テニス・男子バスケットボール・女子バスケットボール・吹奏楽の部活動があります。部活動については、今後、一定の期間は、学校で、平日・休日ともに現行通りの部活動の場を提供していきますが、並行して、休日において、地域クラブ活動への移行を試行的に進めていきたいと考えています。将来的には、平日の活動の地域展開も視野に入れています。
52		質問	部活動はすべての学年が対象か。	部活動の対象は7年生から9年生です。将来的には、豊能町でも地域展開することによって、小学生の参加ができる種目もできるかもしれません。
53	トイレの設置	意見	4階に4学年となっているが、トイレが1カ所しかなく、休み時間中に混雑し、使えない子も出てくるのではないのでしょうか。2階が2学年なので、全階3学年にするといいのではないのでしょうか。	お手洗いの数につきましては、旧吉川中学校の生徒数に対して設置していた数を参考に設置していますので問題ないと考えます。また、場所につきましては、旧吉川中学校では1号棟2号棟にそれぞれ分散して設置していましたが、教室等を有効に活用するため、今回の改修では中央部(渡り廊下)に集約する形としました。
54			トイレが、少なくないですか。	
55			各階のトイレが1カ所ずつですが、人数に対して少ないように思います。	
56	多目的室	質問	多目的室を体育館代わりに使用することでしたが、下の階に図書室があります。うるさくならないでしょうか。	多目的室は、前期学部の体育授業や中学校体育(柔道)等の利用を想定しています。構造上は、他の教室と同様に特段の対策は講じていませんが、下の階に影響はないと判断しています。
57	図書室	質問	図書室は、1～9年生共有でしょうか。蔵書数は、どのくらいでしょうか。	図書室については、情報センターの一部を利用するか検討しているところです。基本的には、全学年(1～9年生)が利用する予定です。また、蔵書数は、スペースの関係で約25,000冊を予定していますが、今後、変動する可能性はあります。
58	ランチルーム	質問	「ランチルーム」とは何か。全学年がこの部屋で昼食を食べるのか。それとも各教室で食べるのか。	給食につきましては、基本的には自分の教室で食べることになります。ランチルームは、食育の学習をしながら昼食を食べることなどを想定しています。
59	体育館	質問	体育館が1つしかないが、計18クラスの授業が回るのか。体育館にクーラーをつける予定はあるのか。	低学年の体育の授業などでは、3階の多目的室の活用も考えています。体育館のクーラーは、設置する予定で工事を進めています。
60	施設	質問	施設(普通教室・特別教室・体育館など)のエアコンの設置状況などを教えてほしい。	すべての教室と体育館に設置予定です。
61	プール	質問	プールは屋外のプールを利用するのか。シートスなど、屋内のプールを利用する予定はあるのか。	全天候型で実施ができることや教員の働き方改革の観点から、民間委託も検討しており、明らかになった時点で情報提供します。

62	黒板	質問	ICTの活用について、黒板は電子黒板のような物になるのか。	黒板につきましては、電子黒板とする予定はありません。ICTの活用時は、現在と同様に教室内に設置する大型モニターを活用します。
63	給食	質問	給食は全学年か。	全学年対象です。
64	安全面	意見	新しい取組みに期待と不安があります。期待としては、いろんな年齢でコミュニケーションがとれることがあります。不安なことですが、小学生と中学生では、力や体型もかなり差が出ますし、安全への知識もかなり差があると思います。小学生から中学生が同じになることで、部活や道具の扱いなどはどう管理していくのか、ご検討いただければと思います。	義務教育学校になったことで、学校内での事故やけがが増えているかどうかについて、統計的なデータは現在のところ見つかっていません。新校での放課後の運動場の使い方については、大運動場で部活動を行い、小運動場を学童やわくわくでの活動に使用するように分けて、安全面に配慮していきたいと考えています。
65		意見	保育所の幼児達のいる所に9年生の思い切り蹴ったボールが飛び込むといったような安全性への対策は考えられているか気になります。(以前、小学生の蹴ったサッカーボールが校門を飛び越えて老人に当たる事故で大問題になったニュースがあったので、同一敷地内での両立が大丈夫かどうか心配)	とよの西学園は、1年生から9年生を対象とした義務教育学校です。令和8年4月時点では、保育所は現在の吉川保育所、幼稚園は現在のひかり幼稚園の場所で運営していますので、ご心配いただいているような問題は生じません。なお、前期・中期学部が使用する小運動場と後期学部が使用する運動場は、高低差があり(小運動場の方が高い)、間にフェンスを設置しますので、基本的には、ボール等が飛び越えていくことは想定していません。
66		質問	運動場周りのフェンス・ネットについて、劣化が激しいが、張り替えるのか。	既存のフェンス、ネットにつきましては、張り替えの予定はしていません。しかし、プール側の支障木を伐採した関係で、枝木がネットを突き破っている箇所が複数あるため、修復又は張り替えで検討しています。
67		質問	物騒な時代です。今は、入校証を首に下げ、インターホンで名前を伝えと校内に入れますが、甘い気がします。新しい学校では、セキュリティ面はどうするのか。カメラ、警備員等、何らか導入するのか。入校システムを変えるのか。	新学校への入校時には、入り口でインターホンにより関係者であることを教職員が確認した上で、電子ロックを解除し、入校していただくことになります。また、敷地内には防犯用のカメラを複数台設置する予定です。出入り口に警備員等の配置は、現段階では考えていません。
68		質問	施設のセキュリティ面を教えてください。	外付けのカメラを設置し、職員室で確認できる設備を設置する予定です。
69	駐車場	質問	行事では、第2駐車場は使用できないのであれば、保護者は徒歩やバス等使用して来校しないといけないということでしょうか。	従来から各学校で実施されている行事時は、自家用車等の利用は控えていただいているところです。令和8年4月開校の義務教育学校につきましても、同様の運用で考えていますので、徒歩又は公共交通機関で来校していただくことになります。
70		要望	説明会の中で、「学校内は原則車の乗り入れ禁止」とありましたが、せめて体調不良などのケースは乗り入れ可にする、等の例外を認めて頂きたいと思いました。体調不良の子を支えながら、駐車場まで移動するのはとても大変だと思います。	原則論としては、乗り入れを禁止していますが、ご質問のような状況への対応につきましては、今後学校でルールを考えていきます。
71		質問	体調不良の場合、車で迎えに行くことはできるのか。	原則、校舎内の車の乗り入れは禁止ですが、緊急時の運用については今後検討していきます。

72	質問	先生方は、東ときわ台小学校から歩きの ですか。	教職員の自家用車等の駐車場につきましては、 東ときわ台小学校の校庭を整備して駐車して いただく予定です。今後、西地区公共施設の再編 により、義務教育学校の近くで駐車場を確保す ることができれば、変更となりますが、現時点では未 定です。
73	質問	教職員の駐車場はどうなっているのか。	約100台の駐車場を確保しなければならず、東と きわ台小学校の運動場を想定しています。 西地区の公共施設再編によって、今後検討して いきます。
74	要望	新光風台地区に住んでいます。スクールバ ス決定は大変有難いのですが、やはり3年生 以降が不安です。酷暑や荒天の中、8歳 の子を1時間も荷物有りで歩かせることにリス クしか感じません。スクールバス、阪急バス 等、柔軟な対応をお願いします。	法令上の規定では、適切な通学距離として、小 学生4km、中学生6kmと定められており、教育 委員会としては、とよの西学園の通学区域にこれ らの距離を超える区域がないことから、基本的 に徒歩による通学、場合によっては公共交通機 関を利用するという方向で検討してきました。 しかし、新光風台地区において、今までの光風 台小学校から、とよの西学園として整備する旧 吉川中学校までの通学距離が長くなるというこ とで、特に低学年(1・2年生)については通学に 係る負担が大きくなるため、スクールバスを運 行してほしいとのご要望を通学区域審議会や開 校準備委員会など各方面からいただいたところ です。また、豊能町議会からも新光風台地区の 中には通学距離が従来の2倍になること、低学 年の児童の身体的、心理的負担が大きいとし て光風台小学校からとよの西学園までのスク ールバス導入について提言がなされました。 教育委員会としては、町長部局とも協議し、 低学年児童の健康面及び小学校が近いから新 光風台に居住したのに義務教育学校整備に伴 い通学が遠くなるというまちづくりの観点も 含めて、スクールバスを導入することといたし ました。スクールバスを利用できる対象につ いては、健康面・体力面で検討しています。 熱中症への対策などについては、別途検討し ていきます。
75	要望	スクールバスは、希望者全員にバスを利用 させてほしいです。なぜ、バスの利用が低学 年のみなのか。他の希望者が利用できない のはなぜか、明確な理由を教えてください。 低学年のみのスクールバスでなく、全学 年出してほしいです。	
76	要望	スクールバスの運用について、低学年(1・2 年生)に限らず、それ以上の学年についても 利用可能とできるよう、検討いただけたら と思います。年齢によらず、個人差がある かと思えます。(体力面・精神面や防犯等、 安全上の理由により)それが難しければ、 保護者による送迎を可能とできるよう、 柔軟に対応していただきたいと思いま す。	
77	要望	新光風台に在住です。来年新4年生にな りますが、体格も小さく、登下校が不安 です。新光風台からのバス乗車対象は、 前期学部(1～4年)というくりになり ませんか。もともと中学校1年生から 登校が遠距離になる想定だったので、 体力面・精神面から判断すると、3・4 年生も含めていただけないかなあと (なぜ3・4年生は対象外なのか)と思 います。ぜひ検討いただきたいです。	
78	要望	昨今は暑さが厳しいので3年生以降も 保護者送迎やスクールバスを出すなどの 対策を柔軟に考えてほしい。	
79	要望	新光風台地区の低学年におけるスク ールバス導入が決まったとのことで、 保護者として大変安心いたしました。 昨今の気候変動や防犯上の懸念も踏 まえ、今後は低学年に限らず、全校 児童生徒に対しても柔軟な通学支援 を検討していただけると、さらに安 心につながるのではと感じておりま す。	

80	要望	法律上何kmと規定があると思いますが、1・2年生と限定せず、新光風台地区は乗車でも良いのではないですか。そこまで深く考えることでもないと思いました。ややこしいと思いました。年齢に関係なく、新光風台地区は、バスで良いと思いました。何歳であっても、熱中症のリスクは同じだと思います。	
81	要望	高学年でも、身体的に小さい子や体力に不安な子もいます。スクールバスが利用できない場合、荷物の軽量化ができるよう、具体的な例や対策を出してほしいです。	児童生徒の携行品の重さや量への配慮については、授業で用いる教科書やその他教材、学用品や体育用品等が過重になることで、身体の健やかな発達に影響が生じかねないと懸念されます。一方、教科書やその他教材等は、宿題や予習・復習などの家庭での学習課題を適切に課す等、家庭学習も視野に入れた指導を行う上で重要なものです。 このような重要性を踏まえつつ、教科書やその他教材等のうち、何を児童生徒に持ち帰らせるか、また、何を学校に置くこととするかについて、児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担等を考慮し、必要に応じ適切な配慮を講じていきます。
82	要望	スクールバスは、新光風台在住の1・2年のみとのこと。3・4年も体力的にしんどいと思う。今、学年によって置き勉の有無や量が違いますが、3年からバスがないならせめて荷物の量(重さ含め)を軽減してほしい。教科書はすべて置いて帰り、タブレットにする等。	
83	質問	光風台小学校まで登校班→バスで吉中へは、なぜだめですか。	
84	要望	吉川地区の登校班について、登校距離については、私が吉川小学校に通っていた時も友達がユーベルホール近くから通っていたので、可能な距離だと思っています。登下校において、2人もしくは1人で、暗い、人気のない道を通っていくことに、不審者、動物、体調不良、子ども自身の気持ちを考えると不安です。誰かお付き添いは可能なのかを検討していただけないでしょうか。一人親で、仕事のこともあり、私の母の体力や体調面でも頼れるところも少なく、私にできることも限られてくるところがあり、私事で申し訳ございません。	

登下校

85	要望	吉川地区における登校距離についても、議題として取り上げてくださったとのことで、感謝申し上げます。現在、吉川地区の児童が通学に利用している道は、木々が生い茂り薄暗く、周囲に朽ちた家屋や人通りのない箇所も多く存在しています。自然が豊かな反面、熊や猿といった害獣、有毒ヘビや蜂などの危険生物の出没も懸念され、町からの注意喚起メールも定期的に届いております。また、周囲に人の気配が少ないことから、不審者・犯罪への不安も拭えません。特に冬場は朝が暗く、下校時も日没が早いと、視界や安全確保の面でもより一層の不安を感じております。こうした通学環境において、私が把握している限りでは、現在低学年の児童は2人で通学しており、体調不良などがあれば1人で登下校しなければならない場合もあります。通学路の安全性だけでなく、精神的な負担も非常に大きいのではと感じております。そこで、可能であれば、大人の付き添いによる登下校の見守りを検討いただけないでしょうか。また、もし他に安全確保のための手段や支援策がありましたら、併せてご提案いただけますと幸いです。少人数ゆえ、なかなか声を上げづらく、配慮の対象になりにくかった地域であるかもしれません。しかし、豊かな自然環境が魅力である豊能町だからこそ、子どもたちが安心して通える通学環境を整えていただけるよう、心よりお願い申し上げます。	登下校の見守りについては、現在、通学路等安全対策部会で検討しているところです。登下校時における子どもの安全を確保するための対策については、地域の安全に大きく貢献してきたボランティアの方が高齢化し、担い手が不足しているという課題があります。加えて、共働き家庭の増加に伴い、保護者による見守りがなかなか難しい現状がありますが、警察、教育委員会・学校、地域住民、保護者が連携し、子どもたちの登下校時の安全を確保できる体制が整えられるよう、検討していきます。
86	意見	吉川地区の児童生徒が2人だけで、1人休むと1人だけで登校になることが心配である。	
87	質問	下校のスクールバスは、どのようになっているか。	スクールバスは、下校時も運行予定です。
88	質問	保護者の送迎は可能か。その際、携帯電話を持たせるなどは可能か。	原則は徒歩ですが、体調面による送迎は可能です。携帯電話については、現在は学校に許可を取る形での持参を認めています。校内での管理については、各校で方式が異なるため、今後検討して報告します。

89	留守家庭児童育成室	質問	留守家庭児童育成室は、昇降口からの出入りですか。	留守家庭児童育成室の出入口は、小運動場側の2か所を予定しています。児童の動線は、授業終了後に昇降口から一旦建物外に出て給食棟の脇を通り、小運動場側の出入口から入室します。保護者の迎えは、直接出入口に来ていただきます。児童にとっては、校舎を一旦出ることから遠回りをするようになりますが、次の3つの理由からこのような経路を設定しました。 ①育成室利用時においては、決められた区画のみを利用すること。 ②通常期と3季休業中の児童の動線を同じにして混乱を防ぐこと。 ③保護者の迎えの際に、保護者と子ども達が一緒に帰宅できる経路を確保すること。 なお、留守家庭児童育成室は学校施設の一部を使用するため、施設管理上、利用時においては校舎内の他の区域への立ち入りを禁止することを予定しています。このため、児童の動線について一定の制限が必要ですのでご理解を頂きたいと思います。
90		質問	留守家庭児童育成室への送迎の際に使用する駐車場は、吉川支所の第二駐車場との事ですが、第二駐車場は認定こども園の設置場所として有力候補だと聞いています。将来的に、駐車場が変更となるのでしょうか。それとも、こども園近辺に駐車場が設けられるのでしょうか。	とよの西学園開校当初については、第2総合駐車場を使用させていただきます。将来的には、西地区の公共施設再編整備及び公私連携幼保連携型認定こども園の設置工事に伴い、駐車場は近隣に変更することを予定していますが、代替地については現時点で未定です。
91		質問	留守家庭児童育成室での外遊びは部活動が実施されている中、どこで行うのか。	大きさの異なる部屋を3つ用意しており、子どもたちが穏やかに安心して過ごせる空間となるようにこれから検討していきます。 外遊びは小運動場を想定していますが、グランドの使用についても、部活動と調整していきたいと考えています。
92		質問	留守家庭児童室の送り迎えはどう想定しているのか。 延長の場合や長期休暇時の開室時間は、多くの車が停まることになると思うが、どう想定しているのか。	育成室の送迎は、現在の第2総合駐車場を予定しています。行事などの際は、徒歩での来校をお願いします。
93		質問	留守家庭児童育成室の送迎の際、保護者の駐車場所はどのようになるのか。	
94		質問	留守家庭児童育成室の送迎などはどのようになるのか。	
95		要望	転入してきた子どもは、それまでの一貫した流れの外からこの教育内に入ってくる。疎外感や途中から加わるデメリットがないようにしてほしい。(実際、転入時によくわからず疎外感を感じたので)	転入生が新しい学校生活を円滑に始められるよう、丁寧にサポートします。また、学校独自のカリキュラムにスムーズに参加できるよう、個別に補充の指導をするなど、柔軟な対応を行ってまいります。

96	全 般	質問	町外から転入を検討する際、義務教育学校という点が阻害因子になる可能性がないか。詳細を知れる情報源を今後設ける予定があるのか。	フ。 学校の詳細につきましては、ガイドブックを作成し、ホームページへの掲載を検討しています。
97		意見	まだ全国に数少ない義務教育学校での教育・学校生活を子どもが体験できることが、親の立場からするととても楽しみです。	義務教育の9年間を一貫して学ぶことができるこの新しい教育のかたちは、義務教育の修了時までの見通しをもって、9年間という長いスパンで子どもたち一人ひとりの成長をより丁寧に見守り、スモールステップで子どもたちの力を伸ばしていくことができます。これから始まる新しい学校生活が、子どもたちにとってかけがえのない経験となり、これからの社会をたくましく生き抜くことができる力を育成できるよう、尽力します。
98		意見	今回の説明会に参加し、次年度から子どもたちがどんな学校生活を送っていくのかをイメージするとより一層楽しみになりました。	